林業技術センター
普及班便り
（第28回）

いわての林業人7

一　はじめに

今月の普及班便りでは、雫石町の廣瀬誠さんをご紹介します。

廣瀬（ひろせ）　誠（まこと）さん

二　人物紹介

【プロフィール】

廣瀬さんは雫石町の生まれ。

ご実家は林産業を営む廣瀬林業で、現在お父様と一緒に素材生産業をされています。

小さなころからご実家の仕事を見ていた影響か、高校は盛岡農業高等学校の林業科に進学され、そこで林業を学ばれました。

高校卒業後は東京の大学に進学して森林・林業に関する様々な勉強をされたとのこと。在学中に教員免許も取得され、昨年には母校の盛岡農業高等学校で臨時講師として教壇に立たれたそうです。

大学卒業後は大学院への進学を希望していたそうですが、様々な状況を勘案した結果、実家に帰って林業をするという選択をされたそうです。

実家に帰ってからは、平成14年に岩手県林業作業士（グリーンマイスター）を取得、平成20年度には岩手県が育成している「地域けん引型林業経営体」のプラン認定を受けるなど、林業に積極的に取り組んでおられます。

チェーンソー伐倒→プロセッサ造材

三　仕事の状況

(1)山での仕事

廣瀬さんが初めて山仕事を行ったのは高校生の頃、下刈の手伝いだったそうです。

初めての山仕事でペースをつかめなかったのか、作業中に熱中症になってしまい、山仕事の怖さ、大変さが身にしみたそうで、それ以降は安全作業に十分に気をつけているとのことです。

廣瀬さんの現在の仕事は主に民有林の皆伐作業で、チェーンソーでの伐倒から高性能林業機械での作業など、様々な仕事をされているとのこと。

廣瀬さんは今年になって大型免許を取得されたそうで、この取材の翌日にはトラックで宮城県に材を運ぶとのこと。いろいろな作業をこなせるプロフェッショナルとして活躍されています。

作業路を開設し、フォワーダで搬出

(2)今後の目標

廣瀬さんに今後の目標についてお話を伺ったところ、以前研修でヨーロッパに行った際、作業者の服装の違いを感じたそうで、日本でもファッショナブルな林業を進めたいという思いを持ったとのこと。併せて林業における社会保障制度の充実など、林業という職業の魅力を高めたいとおっしゃいます。

(3)家族の想い

廣瀬さんが現場に行く際は、経営者であるお父様と一緒に行動されています。

「家に帰って来いと言ったわけでもないのに」とはお父様のお言葉。「息子には学校の先生になってもらいたかった」とのことですが、自分と同じ仕事を選択した息子を見るお父様の嬉しそうな姿がとても印象的でした。

四　おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられたならご連絡ください。

林業技術センター普及班

林業技術センター普及班　019-698-1337